

「JENESYS2023」2023年中国法曹関係者代表団（1）の記録

1. プログラム概要

【目的】本事業は、多国籍企業等のビジネス案件を担当する中国国内の若手弁護士を訪日招聘し、「これからの日中協力と法律家の役割」をテーマに、司法機関や法律関係組織の訪問をはじめ、中央省庁、日本企業等の視察・交流を行うことで、日本社会の発展と日中関係の動向を俯瞰するとともに、日中協力において法律家が果たすべき役割を考察することを目的として実施しました。

【参加者】中国の法曹関係者 15名

【訪問地】東京都、京都府、和歌山県

【日程】

- プレプログラム 2023年9月20日（水） オンライン事前オリエンテーション
- 招へいプログラム 2023年9月24日（日）～9月30日（土） 6泊7日

日にち	概要
9月20日 プレプログラム	<p>【オンライン事前オリエンテーション】</p> <p>①主催者代表挨拶 ②団長挨拶 ③参加者紹介 ④日程・プログラム説明 ⑤注意事項説明 ⑥アンケート・対外発信・アクションプラン説明 ⑦質疑応答</p>
1日目 9月24日	羽田空港より入国
2日目 9月25日	<p>【懇談・交流】フォーラム21（異業種交流グループ）</p> <p>①日中代表挨拶、フォーラム21活動紹介、北京市安理律師事務所活動紹介 ②テーマディスカッション ※女性の社会活躍、少子化を中心に ③クロージング（感想発表等）</p> <p>【講義聴講・表敬】法務省</p> <p>①ブリーフ ②質疑応答・意見交換 ③法務大臣表敬訪問</p> <p>【視察】最高裁判所</p> <p>①DVD視聴「日本の司法制度について」、質疑応答 ②大法廷見学</p> <p>【歓迎会】</p>

<p>3 日目 9 月 26 日</p>	<p>【表敬・意見交換】国会議員 表敬訪問・交流 細野豪志衆議院議員を訪問。ALPS 処理水に関する意見交換</p> <p>【懇談・交流】外務省 ①太田学 中国・モンゴル第一課長との懇談 ②丸林絵梨 国際法局国際法課 検事との懇談</p> <p>【講義聴講・意見交換】日本弁護士連合会 ①日本弁護士連合会 プレゼンテーション 1) 「外国法人等が原告となる場合の民事訴訟法上の留意事項」 2) 「日本における解雇法制」 ②質疑応答・意見交換</p> <p>【表敬・意見交換】国会議員 表敬訪問・交流 小淵優子衆議院議員を訪問。女性の社会活躍、日中友好に関する意見交換</p>
<p>4 日目 9 月 27 日</p>	<p>【意見交換・交流】女性の社会参画・活躍を考える交流 社会学者、東京大学 名誉教授 上野千鶴子氏を訪問</p> <p>京都府へ移動</p>
<p>5 日目 9 月 28 日</p>	<p>【視察】オムロン株式会社 ①コミュニケーションプラザ 見学 ②会社紹介、質疑応答</p> <p>【視察】稲盛ライブラリー（京セラ株式会社） ①稲盛和夫紹介映像「敬天愛人」視聴 ②各展示の見学 ③京セラファインセラミック館 見学</p> <p>和歌山県へ移動</p>
<p>6 日目 9 月 29 日</p>	<p>【体験・視察】高野山真言宗 総本山金剛峯寺 ①宿坊宿泊体験（精進料理、朝勤行） ②阿字観瞑想体験 ③金剛峯寺、壇上伽藍、奥の院 視察・参観</p> <p>東京都へ移動</p> <p>【歓送報告会】</p>
<p>7 日目 9 月 30 日</p>	<p>羽田空港より帰国</p>

2. 記録写真



2023年9月25日【懇談・交流】
フォーラム 21



2023年9月25日【講義聴講・表敬】
法務省



2023年9月25日【視察】
最高裁判所



2023年9月26日【講義聴講・意見交換】
日本弁護士連合会



2023年9月27日【意見交換・交流】
女性の社会参画・活躍を考える交流



2023年9月28日【視察】
オムロン株式会社



2023年9月28日【視察】
稲盛ライブラリー



2023年9月29日【体験・視察】
高野山宿坊 三宝院

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 1. 弁護士の自治は、中国と日本の弁護士制度の最大の違いであり、非常に収穫がありました。—法務省、日弁連との交流より。2. 日本の女性育成は、母親の育成であり、社会的リーダーの育成ではありません。日本の女性は変わってきているが、男性や社会は変わっていません。これは日本と中国が共に直面している問題です。3. 細野議員と小淵議員は大変優秀な政治家であり、将来の日本のリーダーの魅力を感じました。4. オムロンと京セラの社会的責任に感服しました。特に、家族企業がいかにして社会的企業になり、世代から世代へと受け継がれていくかという点について大いに啓発されました。5. ALPS 処理水問題については、互いに理解を深めました。6. 最高裁判所の独立性と公平性が各方面から認められていることは意外で驚きました。7. 日中関係に関する外務省の交流は率直かつ誠実なものでした。8. 高野山の宿坊は新しい体験でした。飛鷹全隆住職の優しさが印象的でした。9. フォーラム 21 の交流は多数の方々にご参加いただき、とても感謝しています。時間が短かったのが残念でした。

◆ 第一に、日本の弁護士は日本弁護士連合会直轄であり、自治権を維持しています。法務省は弁護士を管理しておらず、弁護士の年次審査はなく、日本弁護士連合会は大きな権限を持ち、除名等、弁護士を直接処罰することができます。第二に、日本の裁判は三審制であり、公判の時間制限はありません。一案件は数年、あるいはそれ以上の期間で終結しない可能性があり、同様の事件で異なる判決意見がある場合には、最高裁判所が最終判決を下します。第三に、現在、男女の未婚率や離婚率が高く、中間層・管理職の女性の割合が低いことは、フォーラム 21 の参加者からも見て取れました。もちろん日本も改善しようとしています。第四に、訪問した日本企業のオムロンや京セラは、日本企業や起業家が社会的責任感を持ち、従業員の利益を第一に考えていることを深く実感させてくれました。

◆短くも収穫の多い旅でした。忘れられないことが3つありました。1つ目は、ここで出会った人たちです。手配して下さったすべての行程で、私たちはとても優秀な人々と出会うことができました。彼らとの交流を通じ、私たちはエリートの力量を感じ、「上には上がある」と啓発されました。2つ目は、ここで忘れられない多様な視点をたくさん学んだことです。今回日本に、少子化や女性の問題等たくさんの問いを持ってきましたが、交流を通じ、問いに対する新たな視点を発見し、この世界は白でなければ黒というわけではなく、もっと色とりどりでいいことに気づきました。ヴォルテールが「私はあなたの意見には同意しないが、あなたが発言する権利を命をかけて守る」と言ったように、私たちはさまざまな声が存在することを認めなければなりません。3つ目に、ここで鑑賞した風景、仏教の聖地である高野山も、新幹線の車窓から眺めた富士山も、決して忘れません。現代的な東京にも、古式ゆかしき京都にも、中国と似た場所もあれば異なる風景もありました。

◆法律の専門家として：1) 日本と中国はどちらも大陸法系の国ですが、裁判官制度と弁護士制度には明らかな違いがあります。例えば、日本の裁判官は定期的に異動しますが、中国の裁判官は通常異動しません。また、日本の法曹は、司法試験に合格した後、1年間の司法インターンシップ研修を受け、弁護士になるか裁判官、検察官になるかを選びます。中国では最初に職業を選択し、続く訓練方法と機関は職業によって異なります。個人的には、両国の間には政治的体質や経済発展の面で明らかな違いがあることが大きな理由だと思います。2) 日本の弁護士・法律事務所は、中国の法律事務所・弁護士に比べ、ブランドプロモーションへの投資が少なく、クライアントは古い人からの紹介や口コミに依存しています。3) 日本の法教育は、若者の法意識の育成に重点を置いており、小学校から高校までの法教育体系があります。

初来日者として：1) 日本人の礼儀正しさと環境衛生は、これまでにさまざまな情報源から入手した情報と一致しており、よい旅行体験でした。2) 上野千鶴子先生は女性問題について造詣が深く、質問に的確に答えてくださいました。先生は率先して女性の社会的地位の向上を推進すると同時に、専門的な知識に基づいて女性を支援してほしいとおっしゃいました。先生の社会的責任感に敬意を表し、自身も先生の希望に応えられるよう、専門的な知識を活かしてより多くの女性を救えるよう努力していきたいです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 企業関係者

次世代を担う若手の法律家の皆さまと、日中それぞれの文化や社会問題などについて議論を
しあえたのは、非常に有意義であったと思う。訪問される皆様が女性が多かったことから、当初は
女性活躍推進や少子化の問題に絞って議論テーマを設定していたが、時事問題や政治的な課題に
ついて話が及んだテーブルもあり、立場を超えて本音で意見交換ができてよかったとの声も多く
出された。また、通訳の方が非常にわかりやすく話をまとめてくださったことでスムーズに
進められたと思う。

◆ 行政機関関係者

代表団の皆様が熱心に日本の司法制度や法教育について講義を受けてくださり、中国の司法制度
についても共有いただくなど、日中双方の司法制度への理解が深まる貴重な機会だった。また、
事前準備の場での挨拶や夕食会の機会を設けていただき、中国の方々と交流を多面的に深める
ことができた。

◆ 司法機関関係者

訪問された皆様が日本の司法制度について熱心に質問して下さり、御関心の高さを感じました。

◆ 法曹関係者

プログラム参加者の皆様に非常に熱心にプレゼンテーションをお聞きいただき、多くの質問も
出されたことで、活発な意見交換がなされ、当連合会参加者にとっても非常に有意義な機会と
なりました。

◆ 社会学者

女性弁護士の方々が率直にプライベートな内容についての話をなさり、率直な交換ができたこと
はとてもよかったです。通訳の方もとてもよかったです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

9/25, 论坛21 (梅下村塾): 成立于1987年, 以培养日本未来的领导人为使命。严格的会员制, 一个行业只有一家企业参加, 学员由各企业的最高领导指定。而且官民结合, 核心官厅也是会员, 并派遣学员。塾是(座右铭): 流汗悟道, 实践躬行, 高志垂范, 超我奉公、交友知爱。从塾是, 可以感受到浓郁的阳明心学的知行合一的味道。我方15名, 其中13名是女性, 对方16名, 只有3名是女性。从人员构成上, 就能看出是一场非常有张力的交流——日本男性和中国女性的直面交流。几点体会: 1、学员以男性为绝对的多数; 2、年龄在45—50之间的最中坚层; 3、以来自企业人事部为主, 看来企业的核心部门是人事部; 4、观点偏保守稳健现实; 5、个人认为中日未来竞争的胜负手, 在于今后女性在各自社会中所发挥的作用。



9/25 【法务省】是日本最高司法行政管理机构, 其中检察厅隶属于法务省, 检察总长接受法务大臣的指挥, 但法务大臣对具体案件无权干预, 检察机关独立地负责各种案件的侦察和处理。最高检察厅是日本检察机关的最高机构。

【法务省】负责司法考试的组织与实施, 但律师执业活动由律师联合会自治管理, 不受法务省监督与管理。

其中印象最深的是法制教育中的【思维教育】, 不提倡孩子机械记忆法律条文, 而是引导孩子思考法律背后的价值以及法律和规则的作用和意义。比如: 想一想如何解决争吵? 什么是契约? 如何制定规则? ☕



2023年9月25日 (WeChat)

フォーラム 21 の交流: 女性参加者は中国側15名中13名、日本側16名中3名、いわば日本人男性と中国人女性が対面した非常に緊張感のある交流だった。将来における日中の競争の勝負の一手は、それぞれの社会における今後の女性の活躍にあると思う。

2023年9月25日 (WeChat)

法務省について: 法務大臣は特定の事件に介入する権限を持たず、検察機関が独立して各種事件の捜査と処理にあたる。司法試験の組織と実施に責任を負うが、弁護士の実務活動は弁護士連合会によって自律的に管理され、法務省の監督と管理を受けない。

法制教育は、子どもたちに法律の条文を機械的に暗記させるのではなく、法律の背後にある価値や、法律やルール役割と意味について考えるよう導くことが特に印象的だった。

9/26 小渊优子议员：优雅！小渊惠三前首相的女儿，日本议员日中友好联盟的事務局局長，新内閣的選舉對策大臣。小淵議員一直作為父親的秘書，追隨父親左右，是子女中唯一繼承父親政治生命的孩子。當我提及她的父親，並表達我們對她的父親的敬意時，我明顯感到她是有些動容的。女性的優雅、調柔、周到，隨處可見：隨行的翻譯老師說，很少見這麼關照翻譯的人；她也是所有行程中，唯一一個和每個團員交換名片的人。也有一個16歲到了青春期的孩子。當孩子受網絡影響，質疑母親的政治主張時，哪怕再累，小淵議員都會陪伴孩子一起討論，因為這是影響孩子的關鍵時候的關鍵陪伴。最後，我表達了希望小淵議員為日中友好做出貢獻的意願，因為，你的時代已經到來，舍你其誰的責任也應由你承擔。感覺這個世界應該多一些這樣的女性領導人，世界會少些戰爭，而多些和諧。給小淵議員的唯一建議是，去中國不要跟中國人說你喜欢喝中國的白酒，否則，你不喝倒，酒就沒有喝好。這樣的日本未來領導人，我們準備好了嗎？



2023年9月26日 (WeChat)

小淵優子議員の気品ある印象と心遣いに感嘆。思春期を迎えた子供とは、たとえどんなに疲れていても、一緒に議論するという。そうすることで、大事な時期に大事な伴走者となれるからだ。世界にはこのような女性リーダーがもっといるべきだと思う。そうすれば、戦争は減り、世界はもっと調和のとれたものとなるだろう。

9/27 拜訪上野千鶴子老師。看似瘦小的身體里，蘊藏著巨大的能量，思維清晰且睿智，觀點辛辣犀利，語言簡短有力又頗為風趣。

上野老師比我母親長一歲，談及他們那個年代，她說：“那個時代女性選擇少”，也正是因为有母親們對女兒的聲援，才有了今天（女孩們有了更多的選擇）。

對於孩子的扶育，她強調所有母親都不應該把類似“我都是為了你”、“都怪你（讓我的生活如此糟糕）”的話語掛在嘴邊，讓孩子內心充滿內疚感。

母親們應活得自由，並給予孩子充分的自由，但母親不要以犧牲自己為代價。

母親的焦慮感染到孩子是最不幸的，孩子應該被愛著。

當然，現場談及的一些觀點是上野老師基於自身選擇而總結，並非提倡所有人都和她一樣；同時她強調作選擇的前提是“內心是充分自由”的。☀️

收穫滿滿的交流❤️

愿我们此生热烈且自由，赤诚又勇敢🌻🌻



2023年9月27日 (WeChat)

9/27 上野千鶴子先生を訪問。小さな体に巨大なエネルギーを秘め、明晰かつ聡明な思考と鋭い視点、そして短く力強い言葉で楽しく語ってくださった。母親については「子供のためにも自由に生き、自分を犠牲にしてはならない」「母親の不安が子供に感染するのは最も不幸」と指摘。大変勉強になった交流だった。情熱を持ち、自由に誠実に、そして勇気をもってこの人生を過ごしていければと思う。

#DAY4#1.参观OMRON, 原来对欧姆龙公司只停留在血压计产品, 意外收获AI与数字化, 更感佩企业传承与百年发展的理念基础, 顺应社会生产力趋势, 解决社会问题, 才是持续创新的源泉;

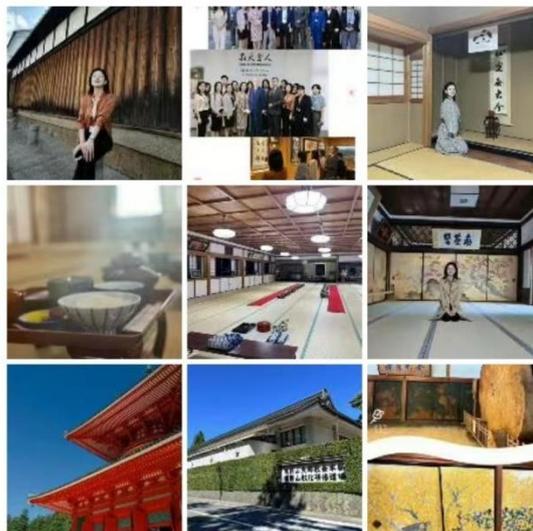
2.参观稻盛先生纪念馆, 托姬律的福, 还有幸参观先生原来的办公环境, 感受先生敬天爱人, 利他, 只为了让员工更好的无我精神, 企业的经营理念大道至简, 大家向心力一致, 都发挥无我精神, 生产力将是无限的



新干线远远感受下富士山, 下一站可以规划起来了😊



生活就是, 既能朝九晚五, 又能浪迹天涯。此行, 除了收获还有感动, 感动于姬律和郭律毫无保留地带教。人与人之间, 真诚的灵魂可以相互震颤, 愿自己未来更能以无我之心行利他之事, 修行ing.....



2023年9月28日 (WeChat)

1. オムロンを訪問。オムロン社の印象は血圧計に留まっていたので、まさか AI とデジタル化を手がけているとは思わなかった。さらに感銘を受けたのは、企業の伝承と 100 年発展の理念の基礎であり、社会の生産力の趨勢に順応し、社会の問題を解決することこそが継続的なイノベーションの源泉だ。

2. 稲盛ライブラリーを訪問。稲盛氏の「敬天愛人」、「利他」、すべては従業員をより良くするためという無私の精神を感じた。企業の経営理念はシンプル、皆が力を合わせ、無私の精神を発揮すれば、生産力は無限のものとなる。

2023年9月29日 (WeChat)

人生は、9 時 5 時で働くことも、世界の果てをさすらうこともできる。

今回の行程では、収穫のほかに感動もあり、団長と副団長が余すことなく教えてくださって感動した。人と人は、真摯な魂で共鳴し合うことができる。これからは無私の心でさらに利他となることができるようお願い、修行中…

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表



【訪日中の学び】

少子化や女性問題、少々デリケートな問題など、多くの課題を抱えて来日したが、交流を通じ、問題を新たな視点から見るができることに気づき、この世界は白でなければ黒というわけではなく、もっと色とりどりでいいと気づいた。

【アクション・プラン】

- ・今回の経験を親戚や友人と共有し、日本の本当の姿を伝えたい。我が子を世界に目を向けてもらえるようにしたい。
- ・日本の皆さんを中国に招き、さまざまな中国を見てもらえるよう、ホストとして最善を尽くしたい。
- ・仕事では、企業に専門的な法律サービスを提供する機会をもっと増やしたい。
- ・博士課程の研究テーマでは、刑法における中国と日本の比較をさらに進めたい。

【訪日中の学び】

外務省の検事と小淵優子衆議院議員との交流では、ご自身の人生経験を遠慮なく共有してくれた。国政、家事、大きなことから小さなことまで、問題を合理的に、果敢に、賢明に対処することができる、ポジティブなエネルギーに大いに惹きつけられ、影響を受けた。

最高裁判所と日弁連との交流では、日本では裁判所と弁護士が独立しており、そのために同地域の同様の事件でも判決が異なることがあることも知った。独立性によって、弁護士は正義を守るために自らの価値判断を遺憾なく発揮でき、弁護士の価値を最大化できると思った。

【アクション・プラン】

- ・今回の体験をSNSで共有し、より多くの中国人に日本の文化と友好を伝えていきたい。
- ・勤務先の法律事務所では、1ヶ月以内に共有会議を準備し、今回感じたことや学んだことを同僚と共有する予定。
- ・大使館の公式ウェブサイトをフォローし、日中友好の活動があれば積極的に参加したい。

実施団体名：(公財)日中友好会館